

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場会社名 株式会社トウペ

上場取引所 東大

コード番号 4614 URL <http://www.tohpe.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 加東 保

TEL 072-243-6411

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,349	△19.5	△132	—	△143	—	△162	—
21年3月期第1四半期	4,160	—	△80	—	△82	—	△99	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△6.25	—
21年3月期第1四半期	△3.76	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	15,895	1,123	6.6	40.69
21年3月期	13,919	1,136	7.7	41.39

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,052百万円 21年3月期 1,071百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	7,150	△14.6	△50	—	△120	—	△120	—	△4.64
連結累計期間	14,500	△5.1	140	—	10	—	0	—	0.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	26,000,000株	21年3月期	26,000,000株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	139,185株	21年3月期	135,720株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	25,862,514株	21年3月期第1四半期	25,876,250株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想数値と異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、生産や輸出の一部に持ち直しの兆しが見られるものの、昨年後半からの金融危機による実体経済の大幅な悪化の影響は根深く、企業業績は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは平成21年5月15日に発表いたしました「経営改善計画」に基づき、塗料事業の収益の改善を目的とし、生産体制の再編による生産コストの削減、継続再雇用制度の凍結による固定費の削減および主力販売製品の見直しによる収益性重視の販売を実施しており、これら施策による効果は当第2四半期以降に段階的に寄与する見込であります。

これらの結果、当第1四半期の業績は、売上高は需要減の影響が大きく3,349百万円（前年同四半期比19.5%減）に止まり、営業損益は132百万円の損失（前年同四半期は80百万円の損失）、経常損益は143百万円の損失（前年同四半期は82百万円の損失）、四半期純損益は162百万円の損失（前年同四半期は99百万円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりです。

## ①塗料事業

工業用塗料分野・汎用塗料分野ともに全般的な需要の低迷の影響が大きく、塗料事業の売上高は2,736百万円（前年同四半期比15.4%減）となり、営業損益は117百万円の損失（前年同四半期は99百万円の損失）となりました。

## ②化成品事業（アクリルゴム・接着剤等）

自動車関連の需要の回復が小幅でありアクリルゴムの売上高が伸び悩み、化成品事業の売上高は613百万円（前年同四半期比33.7%減）となり、営業損益は98百万円の利益（前年同四半期は138百万円の利益）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,976百万円増加し15,895百万円となりました。資産の増加は、主に割引手形の減少により受取手形及び売掛金が増加したためであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ1,989百万円増加し14,772百万円となりました。負債の増加は、主に短期借入金の増加によるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて13百万円減少し1,123百万円となりました。純資産の減少は、主に利益剰余金の減少によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間ならびに通期の業績予想につきましては、現時点では平成21年5月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## ②固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更)

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## (4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、過去2連結会計年度において営業損失およびマイナスの営業キャッシュ・フローを計上し、当第1四半期連結会計年期間においても営業損失およびマイナスの営業キャッシュ・フローを計上しております。

当社グループといたしましては、このような状況を解消し又は改善すべく、「経営改善計画」を策定し、以下の重点項目を柱として事業活動を行っております。

- ① 生産の合理化(生産の集約、調色体制の見直し、コストカット)
- ② 継続再雇用制度の凍結
- ③ 販売の強化(主力販売製品の見直し、新製品の販売、組織の見直し)

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,432,288	611,451
受取手形及び売掛金	4,512,126	3,609,121
有価証券	10,690	10,690
商品及び製品	1,566,251	1,577,809
仕掛品	277,444	259,460
原材料及び貯蔵品	333,987	290,303
その他	217,431	186,504
貸倒引当金	△42,747	△43,246
流動資産合計	8,307,470	6,502,092
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,062,235	4,062,235
その他(純額)	2,005,620	1,987,421
有形固定資産合計	6,067,855	6,049,656
無形固定資産		
投資その他の資産	42,815	31,462
投資有価証券	1,397,607	1,240,929
その他	411,089	420,445
貸倒引当金	△331,972	△325,691
投資その他の資産合計	1,476,724	1,335,683
固定資産合計	7,587,394	7,416,801
資産合計	15,894,864	13,918,893
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,280,226	4,968,876
短期借入金	3,700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	1,427,322	1,472,083
未払法人税等	10,479	21,565
その他	1,042,737	961,273
流動負債合計	10,460,764	8,123,797
固定負債		
長期借入金	2,334,975	2,671,188
繰延税金負債	1,215,766	1,194,790
再評価に係る繰延税金負債	132,263	132,263
退職給付引当金	623,494	655,807
その他	4,461	4,833
固定負債合計	4,310,959	4,658,881
負債合計	14,771,723	12,782,678

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,087,343	2,087,343
利益剰余金	△1,158,700	△996,949
自己株式	△18,219	△17,899
株主資本合計	910,424	1,072,495
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	30,714	△104,769
土地再評価差額金	181,543	181,543
為替換算調整勘定	△70,468	△78,722
評価・換算差額等合計	141,789	△1,948
少数株主持分	70,928	65,668
純資産合計	1,123,141	1,136,215
負債純資産合計	15,894,864	13,918,893

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	4,159,643	3,348,642
売上原価	3,437,458	2,732,036
売上総利益	722,185	616,606
販売費及び一般管理費	801,978	748,617
営業損失(△)	△79,793	△132,011
営業外収益		
受取利息	154	122
受取配当金	21,025	15,471
持分法による投資利益	234	2,288
雑収入	12,581	14,259
営業外収益合計	33,994	32,140
営業外費用		
支払利息	23,322	34,612
手形売却損	3,549	4,092
雑損失	9,474	4,525
営業外費用合計	36,345	43,229
経常損失(△)	△82,144	△143,100
特別損失		
貸倒引当金繰入額	3,000	—
投資有価証券評価損	1,572	—
特別損失合計	4,572	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△86,716	△143,100
法人税、住民税及び事業税	8,923	12,916
法人税等調整額	520	492
法人税等合計	9,443	13,408
少数株主利益	3,257	5,243
四半期純損失(△)	△99,416	△161,751

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△86,716	△143,100
減価償却費	58,350	67,969
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,929	5,782
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,948	△32,313
受取利息及び受取配当金	△21,179	△15,593
支払利息	23,322	34,612
投資有価証券評価損益(△は益)	1,572	—
持分法による投資損益(△は益)	△234	△2,288
売上債権の増減額(△は増加)	139,122	△903,005
たな卸資産の増減額(△は増加)	△91,484	△50,110
仕入債務の増減額(△は減少)	△280,394	△708,068
その他	△28,862	49,304
小計	△277,626	△1,696,810
利息及び配当金の受取額	41,235	25,961
利息の支払額	△23,322	△28,595
法人税等の支払額	△24,598	△23,338
営業活動によるキャッシュ・フロー	△284,311	△1,722,782
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△114,654	△74,705
無形固定資産の取得による支出	△13,587	—
その他の収入	47	—
その他の支出	—	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128,194	△74,733
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	500,000	3,000,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△303,673	△380,974
その他の支出	△212	△674
財務活動によるキャッシュ・フロー	296,115	2,618,352
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△116,390	820,837
現金及び現金同等物の期首残高	825,513	622,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	709,123	1,442,978



## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	塗料事業 (千円)	化成品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,235,979	923,664	4,159,643	—	4,159,643
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	3,235,979	923,664	4,159,643	(—)	4,159,643
営業利益又は営業損失(△)	△98,653	137,786	39,133	(118,926)	△79,793

## (注) 1 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は、用途の違いにより塗料事業と化成品事業に区分しております。

## 2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
塗料事業	建築、鉄材構造物、車両、建設資材、機械金属、皮革、道路標示用等各種塗料塗装工事請負、塗料関連設備機器
化成品事業	アクリルゴム、接着剤

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	塗料事業 (千円)	化成品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,736,106	612,536	3,348,642	—	3,348,642
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	2,736,106	612,536	3,348,642	(—)	3,348,642
営業利益又は営業損失(△)	△117,436	97,994	△19,442	(112,569)	△132,011

## (注) 1 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は、用途の違いにより塗料事業と化成品事業に区分しております。

## 2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
塗料事業	建築、鉄材構造物、車両、建設資材、機械金属、皮革、道路標示用等各種塗料塗装工事請負、塗料関連設備機器
化成品事業	アクリルゴム、接着剤

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	アジア地域 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)
I 海外売上高	542,200	25,800	568,000
II 連結売上高	—	—	4,159,643
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.1	0.6	13.7

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1) アジア地域・・・・・・韓国、台湾  
 (2) その他の地域・・・・・・イタリア  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	アジア地域 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)
I 海外売上高	342,200	6,200	348,400
II 連結売上高	—	—	3,348,642
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.2	0.2	10.4

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1) アジア地域・・・・・・韓国、台湾  
 (2) その他の地域・・・・・・ドイツ  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
 該当事項はありません。